

結果の概要

I 医薬品

平成17年における医薬品最終製品の国内での生産金額は6兆3,907億円、外国からの輸入金額は1兆4,191億円で、合計金額は7兆8,098億円であった。

これに対し、国内への出荷金額は7兆5,635億円、外国への輸出金額は1,251億円であった。

また、製剤で輸入され国内で小分け製造される医薬品については、平成16年以前においては生産金額に分類していたが、平成17年以降においては外国からの輸入金額に分類している。但し、同一条件での比較を可能とするため、平成16年以前についても平成17年以降の分類で表記している。

1. 医薬品の生産状況

- (1) 平成17年における医薬品最終製品の生産金額は6兆3,907億円で前年の6兆1,212億円と比較すると、2,696億円(4.4%)の増加となっている。これを用途区分別に見ると、医療用医薬品の生産金額は5兆7,413億円で5.5%の増加、一般用医薬品の生産金額は6,115億円で4.0%の減少、配置用家庭薬の生産金額は380億円で14.2%の減少で、その他の医薬品の生産の減少が目立っている。また、構成比で見ると、医療用医薬品が全体の89.8%を占め、その他の医薬品は10.2%を占めている。
- (2) 最近10年の医薬品生産金額の推移は、第1表に示すとおりである。
- (3) 医薬品薬効大分類別生産金額は第2表のほか各表に示すとおりであり、上位10分類で4兆7,991億円、75.1%を占めている。
- (4) 年間250億円以上の医薬品薬効中分類別生産金額は第3表に示すとおりである。

第1表 医薬品生産金額の推移

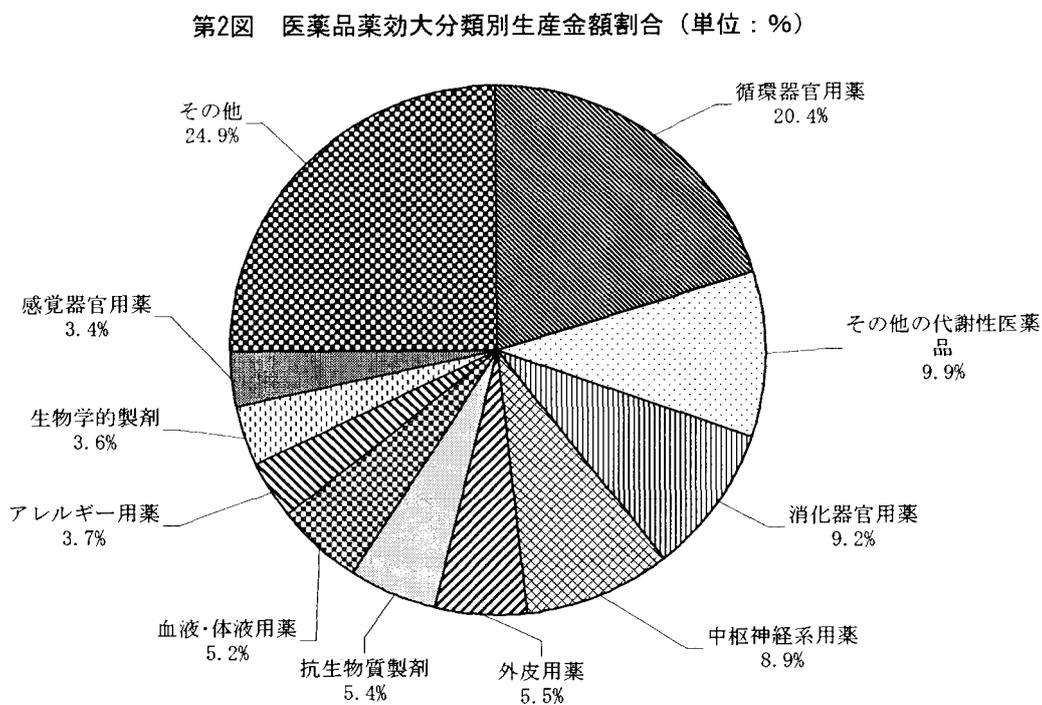
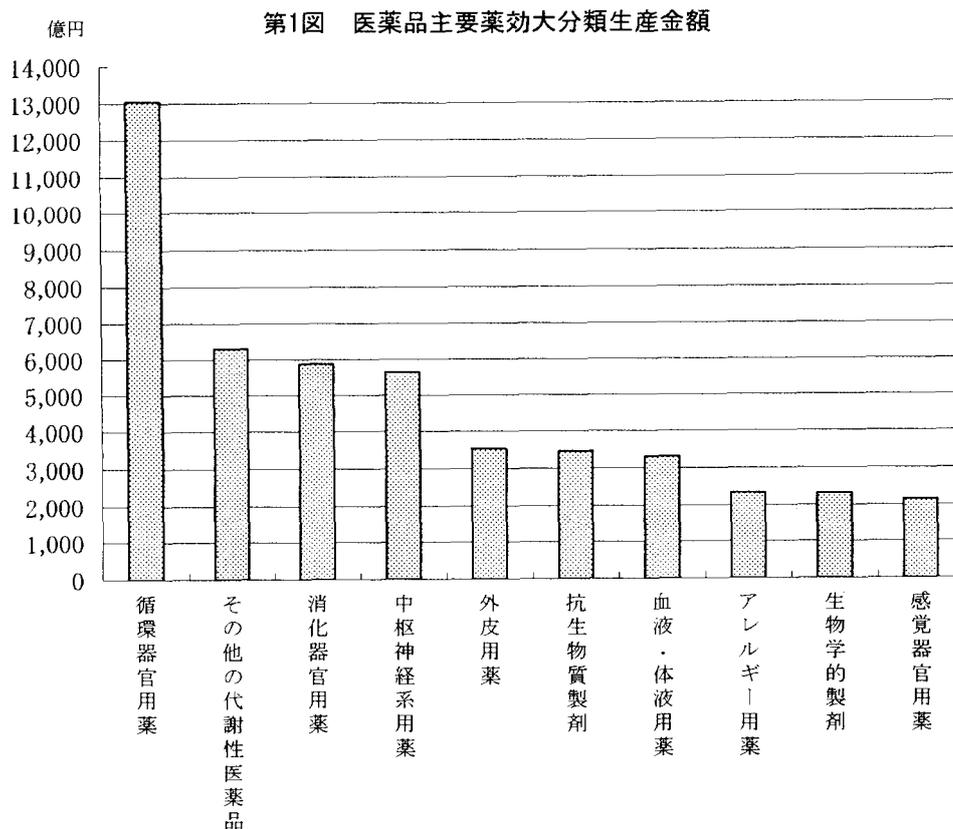
年	生産			医療用医薬品			その他の医薬品			一般用医薬品			配置用家庭薬		
	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比	金額	伸び率	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
平成8年	5,845,567	-0.6	100.0	4,908,217	-1.1	84.0	937,350	2.3	16.0	871,566	2.5	14.9	65,784	-0.7	1.1
平成9年	5,911,316	1.1	100.0	4,955,621	1.0	83.8	955,695	1.9	16.2	887,151	1.8	15.0	68,545	4.0	1.2
平成10年	5,610,039	-5.4	100.0	4,713,233	-5.1	84.0	896,805	-6.6	16.0	830,379	-6.8	14.8	66,426	-3.2	1.2
平成11年	6,041,082	7.1	100.0	5,198,073	9.3	86.0	843,009	-6.4	14.0	784,186	-5.9	13.0	58,824	-12.9	1.0
平成12年	5,927,321	-1.9	100.0	5,127,818	-1.4	86.5	799,503	-5.4	13.5	745,377	-5.2	12.6	54,126	-8.7	0.9
平成13年	6,195,362	4.3	100.0	5,425,860	5.5	87.6	769,503	-3.9	12.4	715,461	-4.2	11.5	54,042	-0.2	0.9
平成14年	6,144,801	-0.8	100.0	5,391,257	-0.6	87.7	753,545	-2.1	12.3	701,839	-1.9	11.4	51,706	-4.5	0.8
平成15年	6,173,374	0.5	100.0	5,458,948	1.2	88.4	714,426	-5.5	11.6	666,865	-5.2	10.8	47,561	-8.7	0.8
平成16年	6,121,169	-0.9	100.0	5,440,184	-0.3	88.9	680,984	-4.9	11.1	636,758	-4.7	10.4	44,226	-7.5	0.7
平成17年	6,390,722	4.4	100.0	5,741,280	5.5	89.8	649,442	-4.6	10.2	611,492	-4.0	9.6	37,951	-14.2	0.6

(注) 平成17年から生産及び輸入の定義が変更されたが、同一条件での比較のため、平成16年以前についても平成17年以降の定義で表記している。

第2表 医薬品薬効大分類別生産金額

順位	薬効大分類	平成17年		(参 考)			
		生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
				平成17年	平成16年	平成17年	平成16年
		百万円	%	百万円	百万円	%	%
	総 数	6,390,722	100.0	7,688,638	7,441,817	100.0	100.0
1	循環器官用薬	1,304,104	20.4	1,370,423	1,321,393	17.8	17.8
2	その他の代謝性医薬品	630,551	9.9	709,849	705,161	9.2	9.5
3	消化器官用薬	587,284	9.2	610,124	572,043	7.9	7.7
4	中枢神経系用薬	565,940	8.9	707,158	674,785	9.2	9.1
5	外皮用薬	353,117	5.5	368,024	365,670	4.8	4.9
6	抗生物質製剤	346,951	5.4	352,369	413,402	4.6	5.6
7	血液・体液用薬	330,734	5.2	341,560	318,994	4.4	4.3
8	アレルギー用薬	233,466	3.7	263,921	226,873	3.4	3.0
9	生物学的製剤	232,168	3.6	303,898	297,284	4.0	4.0
10	感覚器官用薬	214,799	3.4	273,764	250,628	3.6	3.4
11	ビタミン剤	198,979	3.1	201,792	206,539	2.6	2.8
12	体外診断用医薬品	181,030	2.8	281,971	270,726	3.7	3.6
13	呼吸器官用薬	149,654	2.3	203,574	198,219	2.6	2.7
14	滋養強壯薬	145,774	2.3	151,195	156,765	2.0	2.1
15	泌尿生殖器官及び肛門用薬	141,146	2.2	141,007	143,296	1.8	1.9
16	腫瘍用薬	137,993	2.2	343,208	335,061	4.5	4.5
17	ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	122,312	1.9	250,451	237,896	3.3	3.2
18	化学療法剤	119,044	1.9	260,746	238,397	3.4	3.2
19	漢方製剤	103,343	1.6	104,561	105,412	1.4	1.4
20	診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）	62,872	1.0	126,375	128,555	1.6	1.7
21	人工透析用薬	51,001	0.8	53,203	54,088	0.7	0.7
22	末梢神経系用薬	38,954	0.6	50,277	45,669	0.7	0.6
23	放射性医薬品	31,433	0.5	33,412	34,708	0.4	0.5
24	調剤用薬	27,274	0.4	26,862	13,878	0.3	0.2
25	公衆衛生用薬	23,681	0.4	26,628	32,863	0.3	0.4
	その他	57,119	0.9	132,286	93,512	1.7	1.3

(注) 医薬品薬効大分類の順位は、平成17年の生産金額の順による。



第3表 医薬品薬効中分類別生産金額

順位	薬効中分類	平成17年		(参 考)			
				出荷金額		構成割合	
		生産金額	構成割合	17年	16年	17年	16年
		百万円	%	百万円	百万円	%	%
	総 数	6,390,722	100.0	7,688,638	7,441,817	100.0	100.0
1	血圧降下剤	498,798	7.8	503,877	481,117	6.6	6.5
2	他に分類されない代謝性医薬品	400,532	6.3	441,337	410,788	5.7	5.5
3	消化性潰瘍用剤	354,152	5.5	340,603	336,443	4.4	4.5
4	血管拡張剤	322,774	5.1	360,373	348,778	4.7	4.7
5	高脂血症用剤	275,787	4.3	276,001	258,355	3.6	3.5
6	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	231,142	3.6	237,242	228,232	3.1	3.1
7	主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	228,269	3.6	237,468	282,705	3.1	3.8
8	その他の血液・体液用薬	219,517	3.4	222,337	203,352	2.9	2.7
9	その他のアレルギー用薬	216,191	3.4	243,902	209,425	3.2	2.8
10	眼科用剤	179,193	2.8	224,124	203,209	2.9	2.7
11	血液製剤類	166,138	2.6	187,057	195,708	2.4	2.6
12	解熱鎮痛消炎剤	146,876	2.3	149,129	145,537	1.9	2.0
13	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	127,482	2.0	116,649	114,797	1.5	1.5
14	糖尿病用剤	114,509	1.8	169,345	144,818	2.2	1.9
15	その他の中枢神経系用薬	103,832	1.6	104,510	95,523	1.4	1.3
16	漢方製剤	103,343	1.6	104,561	105,412	1.4	1.4
17	その他の循環器官用薬	92,359	1.4	102,702	107,285	1.3	1.4
18	生化学的検査用試薬	84,113	1.3	114,302	111,867	1.5	1.5
19	総合感冒剤	83,926	1.3	80,893	80,797	1.1	1.1
20	精神神経用剤	79,963	1.3	189,594	172,722	2.5	2.3
21	催眠鎮静剤、抗不安剤	76,695	1.2	84,394	86,745	1.1	1.2
22	合成抗菌剤	73,147	1.1	77,236	70,404	1.0	0.9
23	血液代用剤	72,701	1.1	61,568	63,328	0.8	0.9
24	免疫血清学的検査用試薬	72,626	1.1	129,234	125,101	1.7	1.7
25	その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	72,478	1.1	138,456	127,312	1.8	1.7
26	代謝拮抗剤	68,661	1.1	79,171	81,609	1.0	1.1
27	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	67,099	1.0	68,319	68,388	0.9	0.9
28	たん白アミノ酸製剤	66,828	1.0	69,832	68,512	0.9	0.9
29	その他の消化器官用薬	64,390	1.0	90,914	73,232	1.2	1.0
30	不整脈用剤	60,417	0.9	64,536	71,561	0.8	1.0
31	ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)	56,110	0.9	56,531	46,719	0.7	0.6
32	その他の滋養強壯薬	54,049	0.8	54,752	62,320	0.7	0.8
33	X線造影剤	51,136	0.8	100,782	102,358	1.3	1.4
34	混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)	48,284	0.8	48,715	54,306	0.6	0.7
35	利胆剤	47,881	0.7	47,632	18,829	0.6	0.3
36	ビタミンA及びD剤	46,587	0.7	48,237	57,023	0.6	0.8
37	去たん剤	46,583	0.7	45,144	40,844	0.6	0.5
38	総合代謝性製剤	43,766	0.7	44,623	54,597	0.6	0.7
39	抗パーキンソン剤	40,502	0.6	55,556	50,098	0.7	0.7
40	下剤、浣腸剤	39,346	0.6	49,589	54,508	0.6	0.7
41	気管支拡張剤	39,132	0.6	72,904	71,662	0.9	1.0
42	外皮用殺菌消毒剤	38,893	0.6	39,515	43,645	0.5	0.6
43	ワクチン類	38,076	0.6	37,437	41,344	0.5	0.6
44	その他の腫瘍用薬	35,113	0.5	184,849	165,637	2.4	2.2
45	強心剤	33,131	0.5	32,843	29,978	0.4	0.4
46	放射性医薬品	31,433	0.5	33,412	34,708	0.4	0.5
47	人工腎臓透析用剤	31,008	0.5	30,699	30,627	0.4	0.4
48	抗ウイルス剤	30,791	0.5	100,008	86,040	1.3	1.2
49	複合胃腸剤	27,593	0.4	27,720	31,804	0.4	0.4
50	血液凝固阻止剤	27,036	0.4	45,646	40,724	0.6	0.5
51	寄生性皮膚疾患用剤	26,714	0.4	32,256	33,732	0.4	0.5
52	痛風治療剤	26,680	0.4	27,719	26,213	0.4	0.4

(注) 医薬品薬効中分類の順位は、平成17年の生産金額の順位によるものであり、生産金額が250億円以上のものである。

2. 医薬品の薬効分類別生産状況

(1) 循環器官用薬

循環器官用薬の生産金額は1兆3,041億円であり、医薬品総生産金額の20.4%を占めている。

内訳は第4表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血圧降下剤で38.2%を占めており、血管拡張剤24.8%、高脂血症用剤21.1%、その他の循環器官用薬7.1%という順になっている。

第4表 循環器官用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	1,304,104	100.0	1,370,423	1,321,393	100.0	100.0
強心剤	33,131	2.5	32,843	29,978	2.4	2.3
不整脈用剤	60,417	4.6	64,536	71,561	4.7	5.4
利尿剤	11,821	0.9	17,894	16,599	1.3	1.3
血圧降下剤	498,798	38.2	503,877	481,117	36.8	36.4
血管補強剤	76	0.0	72	79	0.0	0.0
血管収縮剤	8,942	0.7	12,125	7,641	0.9	0.6
血管拡張剤	322,774	24.8	360,373	348,778	26.3	26.4
高脂血症用剤	275,787	21.1	276,001	258,355	20.1	19.6
その他の循環器官用薬	92,359	7.1	102,702	107,285	7.5	8.1

(2) その他の代謝性医薬品

その他の代謝性医薬品の生産金額は6,306億円であり、医薬品総生産金額の9.9%を占めている。

内訳は第5表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、他に分類されない代謝性医薬品で63.5%を占めており、糖尿病用剤18.2%、総合代謝性製剤6.9%、痛風治療剤4.2%という順になっている。

第5表 その他の代謝性医薬品の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	630,551	100.0	751,202	705,161	100.0	100.0
肝臓疾患用剤	11,645	1.8	12,902	14,418	1.7	2.0
解毒剤	11,634	1.8	24,747	28,048	3.3	4.0
習慣性中毒用剤	119	0.0	120	121	0.0	0.0
痛風治療剤	26,680	4.2	27,719	26,213	3.7	3.7
酵素製剤	21,664	3.4	30,410	26,159	4.0	3.7
糖尿病用剤	114,509	18.2	169,345	144,818	22.5	20.5
総合代謝性製剤	43,766	6.9	44,623	54,597	5.9	7.7
他に分類されない代謝性医薬品	400,532	63.5	441,337	410,788	58.8	58.3

(3) 消化器官用薬

消化器官用薬の生産金額は5,873億円であり、医薬品総生産金額の9.2%を占めている。

内訳は第6表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、消化性潰瘍用剤で60.3%を占めており、その他の消化器官用薬11.0%、利胆剤8.2%、下剤、浣腸剤6.7%という順になっている。

第6表 消化器官用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	587,284	100.0	610,124	572,043	100.0	100.0
止しゃ剤, 整腸剤	22,919	3.9	23,236	26,301	3.8	4.6
消化性潰瘍用剤	354,152	60.3	340,603	336,443	55.8	58.8
健胃消化剤	15,311	2.6	15,246	15,690	2.5	2.7
制酸剤	15,692	2.7	15,183	15,236	2.5	2.7
下剤, 浣腸剤	39,346	6.7	49,589	54,508	8.1	9.5
利胆剤	47,881	8.2	47,632	18,829	7.8	3.3
複合胃腸剤	27,593	4.7	27,720	31,804	4.5	5.6
その他の消化器官用薬	64,390	11.0	90,914	73,232	14.9	12.8

(4) 中枢神経系用薬

中枢神経系用薬の生産金額は5,659億円であり、医薬品総生産金額の8.9%を占めている。

内訳は第7表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、解熱鎮痛消炎剤で26.0%を占めており、その他の中枢神経系用薬18.3%、総合感冒剤14.8%、精神神経用剤14.1%、催眠鎮静剤, 抗不安剤13.6%という順になっている。

第7表 中枢神経系用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	565,940	100.0	707,158	674,785	100.0	100.0
全身麻酔剤	8,720	1.5	17,275	17,613	2.4	2.6
催眠鎮静剤, 抗不安剤	76,695	13.6	84,394	86,745	11.9	12.9
抗てんかん剤	24,298	4.3	24,604	24,755	3.5	3.7
解熱鎮痛消炎剤	146,876	26.0	149,129	145,537	21.1	21.6
興奮剤, 覚せい剤	1,128	0.2	1,204	993	0.2	0.1
抗パーキンソン剤	40,502	7.2	55,556	50,098	7.9	7.4
精神神経用剤	79,963	14.1	189,594	172,722	26.8	25.6
総合感冒剤	83,926	14.8	80,893	80,797	11.4	12.0
その他の中枢神経系用薬	103,832	18.3	104,510	95,523	14.8	14.2

(5) 外皮用薬

外皮用薬の生産金額は3,531億円であり、医薬品総生産金額の5.5%を占めている。

内訳は第8表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤で65.5%を占めており、外皮用殺菌消毒剤11.0%、寄生性皮膚疾患用剤7.6%、その他の外皮用薬4.3%という順になっている。

第8表 外皮用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	353,117	100.0	368,024	365,670	100.0	100.0
外皮用殺菌消毒剤	38,893	11.0	39,515	43,645	10.7	11.9
創傷保護剤	5,183	1.5	5,059	5,219	1.4	1.4
化膿性疾患用剤	9,450	2.7	10,201	9,692	2.8	2.7
鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	231,142	65.5	237,242	228,232	64.5	62.4
寄生性皮膚疾患用剤	26,714	7.6	32,256	33,732	8.8	9.2
皮膚軟化剤(腐しよく剤を含む。)	11,482	3.3	12,636	12,234	3.4	3.3
毛髪用剤(脱毛剤、染毛剤、養毛剤)	14,991	4.2	15,066	15,802	4.1	4.3
浴剤	221	0.1	231	242	0.1	0.1
その他の外皮用薬	15,041	4.3	15,817	16,872	4.3	4.6

(6) 抗生物質製剤

抗生物質製剤の生産金額は3,470億円であり、医薬品総生産金額の5.4%を占めている。

内訳は第9表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤で65.8%を占めており、主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤19.3%、主としてカビに作用する抗生物質製剤6.3%、主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤5.9%という順になっている。

第9表 抗生物質製剤の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	346,951	100.0	352,369	413,402	100.0	100.0
主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤	20,493	5.9	19,369	29,647	5.5	7.2
主としてグラム陰性菌に作用する抗生物質製剤	5,455	1.6	5,720	6,231	1.6	1.5
主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	228,269	65.8	237,468	282,705	67.4	68.4
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	67,099	19.3	68,319	68,388	19.4	16.5
主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、クラミジアに作用する抗生物質製剤	2,747	0.8	3,871	5,017	1.1	1.2
主として抗酸菌に作用する抗生物質製剤	865	0.2	1,282	1,413	0.4	0.3
主としてカビに作用する抗生物質製剤	22,016	6.3	14,948	19,311	4.2	4.7
その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。)	7	0.0	1,392	689	0.4	0.2

(7) 血液・体液用薬

血液・体液用薬の生産金額は3,307億円であり、医薬品総生産金額の5.2%を占めている。

内訳は第10表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の血液・体液用薬で66.4%を占めており、血液代用剤22.0%、血液凝固阻止剤8.2%、止血剤3.5%の順になっている。

第10表 血液・体液用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総 数	330,734	100.0	341,560	318,994	100.0	100.0
血液代用剤	72,701	22.0	61,568	63,328	18.0	19.9
止血剤	11,479	3.5	12,009	11,590	3.5	3.6
血液凝固阻止剤	27,036	8.2	45,646	40,724	13.4	12.8
その他の血液・体液用薬	219,517	66.4	222,337	203,352	65.1	63.7

(8) アレルギー用薬

アレルギー用薬の生産金額は2,335億円であり、医薬品総生産金額の3.7%を占めている。

内訳は第11表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他のアレルギー用薬で92.6%を占めており、抗ヒスタミン剤4.2%、刺激療法剤3.2%という順になっている。

第11表 アレルギー用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総 数	233,466	100.0	263,921	226,873	100.0	100.0
抗ヒスタミン剤	9,693	4.2	10,092	9,858	3.8	4.3
刺激療法剤	7,582	3.2	7,677	7,591	2.9	3.3
非特異性免疫原製剤	-	-	-	-	-	-
その他のアレルギー用薬	216,191	92.6	246,152	209,425	93.3	92.3

(9) 生物学的製剤

生物学的製剤の生産金額は2,322億円であり、医薬品総生産金額の3.6%を占めている。
内訳は第12表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血液製剤類で71.6%を占めており、ワクチン類16.4%、その他の生物学的製剤10.6%、混合生物学的製剤1.2%という順になっている。

第12表 生物学的製剤の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総 数	232,168	100.0	303,898	297,284	100.0	100.0
ワクチン類	38,076	16.4	37,437	41,344	12.3	13.9
毒素及びトキソイド類	510	0.2	486	389	0.2	0.1
抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類	145	0.1	56	76	0.0	0.0
血液製剤類	166,138	71.6	187,057	195,708	61.6	65.8
生物学的試験用製剤類	-	-	-	-	-	-
混合生物学的製剤	2,735	1.2	2,934	3,147	1.0	1.1
その他の生物学的製剤	24,564	10.6	75,929	56,621	25.0	19.0

(10) 感覚器官用薬

感覚器官用薬の生産金額は2,148億円であり、医薬品総生産金額の3.4%を占めている。
内訳は第13表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、眼科用剤で83.4%を占めており、耳鼻科用剤11.5%、鎮暈剤5.1%という順になっている。

第13表 感覚器官用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総 数	214,799	100.0	273,764	250,628	100.0	100.0
眼科用剤	179,193	83.4	224,124	203,209	81.9	81.1
耳鼻科用剤	24,606	11.5	38,032	36,211	13.9	14.4
鎮暈剤	10,944	5.1	11,554	11,162	4.2	4.5
その他の感覚器官用薬	57	0.0	53	46	0.0	0.0

(11) ビタミン剤

ビタミン剤の生産金額は1,990億円であり、医薬品総生産金額の3.1%を占めている。
内訳は第14表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く。）で28.2%を占めており、混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）24.3%、ビタミンA及びD剤23.4%、ビタミンB1剤6.4%という順になっている。

第14表 ビタミン剤の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	198,979	100.0	201,792	206,539	100.0	100.0
ビタミンA及びD剤	46,587	23.4	48,237	57,023	23.9	27.6
ビタミンB1剤	12,700	6.4	12,680	13,229	6.3	6.4
ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く。）	56,110	28.2	56,531	46,719	28.0	22.6
ビタミンC剤	6,512	3.3	6,786	6,937	3.4	3.4
ビタミンE剤	5,682	2.9	5,712	6,310	2.8	3.1
ビタミンK剤	11,594	5.8	11,592	10,807	5.7	5.2
混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）	48,284	24.3	48,715	54,306	24.1	26.3
その他のビタミン剤	11,510	5.8	11,539	11,211	5.7	5.4

(12) 体外診断用医薬品

体外診断用医薬品の生産金額は1,810億円であり、医薬品総生産金額の2.8%を占めている。

内訳は第15表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、生化学的検査用試薬で46.5%を占めており、免疫血清学的検査用試薬40.1%、一般検査用試薬6.9%、血液検査用試薬3.6%という順になっている。

第15表 体外診断用医薬品の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額	構成割合	出荷金額		構成割合	
			17年	16年	17年	16年
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
総 数	181,030	100.0	281,971	270,726	100.0	100.0
一般検査用試薬	12,427	6.9	13,990	13,295	5.0	4.9
血液検査用試薬	6,553	3.6	9,396	8,708	3.3	3.2
生化学的検査用試薬	84,113	46.5	114,302	111,867	40.5	41.3
免疫血清学的検査用試薬	72,626	40.1	129,234	125,101	45.8	46.2
細菌学的検査用薬	5,111	2.8	13,792	10,710	4.9	4.0
病理組織検査用薬	201	0.1	1,257	1,045	0.4	0.4

(13) 呼吸器官用薬

呼吸器官用薬の生産金額は1,497億円であり、医薬品総生産金額の2.3%を占めている。

内訳は第16表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、去たん剤で31.1%を占めており、気管支拡張剤26.1%、呼吸促進剤13.9%、鎮咳去たん剤12.9%という順になっている。

第16表 呼吸器官用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総数	149,654	100.0	203,574	198,219	100.0	100.0
呼吸促進剤	20,859	13.9	23,125	22,536	11.4	11.4
鎮咳剤	8,723	5.8	9,212	8,927	4.5	4.5
去たん剤	46,583	31.1	45,144	40,844	22.2	20.6
鎮咳去たん剤	19,310	12.9	19,641	21,290	9.6	10.7
気管支拡張剤	39,132	26.1	72,904	71,662	35.8	36.2
含嗽剤	14,960	10.0	12,726	12,875	6.3	6.5
その他の呼吸器官用薬	86	0.1	20,823	20,085	10.2	10.1

(14) 滋養強壮薬

滋養強壮薬の生産金額は1,457億円であり、医薬品総生産金額の2.3%を占めている。

内訳は第17表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、たん白アミノ酸製剤で45.8%を占めており、その他の滋養強壮薬37.1%、無機質製剤8.1%、糖類剤4.7%という順になっている。

第17表 滋養強壮薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総数	145,774	100.0	151,195	156,765	100.0	100.0
カルシウム剤	4,459	3.1	4,777	5,395	3.2	3.4
無機質製剤	11,856	8.1	13,201	11,486	8.7	7.3
糖類剤	6,819	4.7	6,901	7,564	4.6	4.8
有機酸製剤	-	-	-	-	-	-
たん白アミノ酸製剤	66,828	45.8	69,832	68,512	46.2	43.7
臓器製剤	1,521	1.0	1,538	1,310	1.0	0.8
乳幼児用剤	242	0.2	194	177	0.1	0.1
その他の滋養強壮薬	54,049	37.1	54,752	62,320	36.2	39.8

(15) 泌尿生殖器官及び肛門用薬

泌尿生殖器官及び肛門用薬の生産金額は1,411億円であり、医薬品総生産金額の2.2%を占めている。

内訳は第18表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬で90.3%を占めており、痔疾用剤8.7%という順になっている。

第18表 泌尿生殖器官及び肛門用薬の生産金額

薬効中分類	平成17年		(参 考)			
	生産金額 百万円	構成割合 %	出荷金額		構成割合	
			17年 百万円	16年 百万円	17年 %	16年 %
総 数	141,146	100.0	141,007	143,296	100.0	100.0
泌尿器官用剤	132	0.1	386	1,706	0.3	1.2
生殖器官用剤（性病予防剤を含む。）	965	0.7	1,365	1,560	1.0	1.1
子宮収縮剤	220	0.2	298	296	0.2	0.2
避妊剤	33	0.0	2,768	2,820	2.0	2.0
痔疾用剤	12,315	8.7	19,541	22,116	13.9	15.4
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	127,482	90.3	116,649	114,797	82.7	80.1